

第325号

(平成31年3月26日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp

大阪府市場だより



絵：「ホタテ」磯野 由美（磯丸運送）

改正卸売市場法への対応等を報告 定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が3月20日8時40分から、管理棟4階会議室で開催され、山口議長（大阪府中央卸売市場管理センター（株）社長）の挨拶の後、4月1日付で異動の大水北部分社長の板東啓三氏と後任の花本章男氏の紹介があり、両氏が挨拶をされた。

議題1、府の報告に先立ち、船木場長から3月14日に開催された府市場運営取引業務協議会出席のお礼と、市場の皆さんの建替えについての強い思いをお聞きし上司にも伝えたいと述べられた。余田次長から次の3点について報告があった。①改正卸売市場法について場内の取引参加者から意見をお聞きしたが、その後産地関係者としてJAなどが4JAからお聞きした。業務規程改正の方向性が決まってきた。4月中下旬に改正素案を作成し、水産、青果取引委員会の意見をお聞きして、常駐にも随時ご報告しながら改正案を作成、9月以降運営取引業務協議会に諮るスケジュールが示された。②直接集荷販売について、平成30年度4月から2月分が約97億円、昨年度同期比較で約4億円、約4%の減。（市場全体の取扱金額では、約37億円、4.6%減。）③府議会では31年度予算案、条例改正などすべて原案通り可決された。

議題2、管理センターの宮前統括から、2ページのとり報告があった。特に、2月府議会の一般質問及び委員会の質問で、早急に建替えを含む再整備を検討すべきであり、一方喫緊の話題として、水産のゴールドチェーン化に取り組むべきとの質問があり、府の答弁は検討していくとの一定前向きな答弁がされていることが報告された。また、水産エリアにおける不法占有に対して

厳正な対応を行うとともに、関係者の協力について要請があった。

議題3、北冷から、三者協議により、4月から水販売価格を20%値上げし、10月以降は再度検討することに決まったことが報告された。板東大水支社長から、卸としても対応を考える必要性があるので早めの方針を出してほしいと述べられた。

議題4、部会報告として、①小笠原福利厚生部会長から3月8日に開催されたボウリング大会の結果が報告された。また今年のゴルフ大会は10月30日（休場日）に予定することの提案があり了承された。②板東計量部会長から、今年度の計量検査が3月の青果卸売協同組合を最後に終了したことが報告された。なお、宮前統括から市場開放デー開催日について問い合わせがあるとのこと、協議の結果、11月の第2日曜日10日の開催が決まった。

議題5、①田中食流センター常務からA棟の東側店舗を移動し西側に3月中に集約すること、新棟の着工は秋口以降で21年春に完工予定との説明があった。②湯城食品衛生検査所長から3月15日に開催した水産事業者向けのハサップ研修会に多数のご参加をいただいたことのお礼があった。③船木場長から、この1年は地震、台風、そして40周年を迎える激動の年であり、皆さんには大変お世話になったことのお礼があった。



第34回ボウリング大会 熱戦を展開

府市場協会福利厚生部会(部会)長小笠原元功(株)うおいち支社長が主催する第34回ボウリング大会が、3月8日、ラウンドワン高槻店で59人が参加し、午後2時からと4時からの2組に分かれて開催された。個人戦では、3ゲームの総得点、団



第34回ボウリング大会結果

平成31年3月8日(金)
於：ラウンドワン高槻店

団体戦 (敬称略)	得点	氏名
*優勝 青仲	2,560点	田内 克彦 片岡 千悟 松田 勉 河本 哲哉 西尾 友佑
*準優勝 水仲	2,515点	佐野 浩之 榎本 太郎 木村 均 宗 和徳 田上 修
*3位 大果	2,248点	岩佐 睦 田中 邦法 都能 義弘 南原 良公 中野 竜美

個人戦 (敬称略)

順位	点数	氏名	各社・団体
優勝	586	田内 克彦	青仲 (株)西新商店
準優勝	544	佐野 浩之	水仲 (株)幸新
3位	541	岩佐 睦	大果大阪青果(株)
4位	524	松田 勉	青仲 (株)北摂
5位	518	浦野 修司	水仲 (株)大
6位	513	木村 均	水仲 (株)福源商店
7位	503	田上 修	水仲 (株)北部山地食品
8位	501	吉永 真介	水仲 (株)大
9位	491	榎本 太郎	水仲 (株)磯淡水えのもと
10位	490	西尾 友佑	青仲 (株)林田商店

のうちに元気いっぱいプレーを楽しみ、大いに親睦を深めた。特に今回も中央卸売市場の船木場長や72歳の方を筆頭に女性が5名参加されるなど、親睦の輪を広げることが出来た。

消防訓練に多数が参加

府市場の消防訓練が、管理センターの主催で3月20日に、茨木市消防署の指導のもとに実施された。

午前10時に管理棟7階大会議室に、場内関係者58名が参集した。東野市場協会安全部会長が「昨年、大阪北部地震、台風21号とこの市場が大きな被害を受けるような災害が発生しております。被災するまでは、まさかこの大阪がとらえておりましたが、いよいよ本腰を入れて災害に備えることが重要と考えております。」



本日の消防訓練で災害時に対応をすべきかを考えていただき、緊張感をもって訓練に参加して

ただきたい」と挨拶。管理センターの中井氏が各社団体に設置されている地区消防隊においても、担当業務の確認等を行ってほしいと要請された。

次に、AEDについて、2班に分かれて消防署員による説明と参加者による体験訓練の後、地震による火災発生の想定で初期消火や応急救助、通報連絡の訓練を行い、参加者全員が7階から地上へ階段を使って避難を行い、会社・団体ごとの人数の確認を行った。

1階駐車場で消火器による消火訓練では、消防署員から消火器噴射時間は約15秒であることや、背丈以下の炎しか消火器では消火できないことの説明を受けて実践した。



人権研修会を開催

大阪府中央卸売市場と府市場協会は、3月19日に管理棟大会議室で大阪企業人権協議会の芝本正明講師を迎えて、「今日における様々な人権問題から人権の基本を学ぶ」をテーマに人権研修会を開催した。

講演では、「○人権尊重は社会の営みの基本であり、企業においても、お客様、職場、地域社会等の事業活動のあらゆる場面に人権がかかわっている。」

○人権を大切にしたい企業活動は、社会や顧客からの信頼・信用(ブランド)の獲得につながることを力説され、「人権をおろそかにすると、いつかはお客様や社会の信頼を失う!!」と警鐘を鳴らしておられた。



大阪府健康づくりアワードに協賛

府市場管理センター(株)

大阪府では府域の職場・企業や地域において、自主的、主体的な健康づくり活動を行っている団体を表彰する「第4回大阪府健康づくりアワード」表彰式を2月21日に大阪府庁本館正庁の間において開催した。健康寿命の延伸につながる優れた取り組みを行っている団体を讃えるもので、応募45団体のうち職場部門9団体、地域部門7団体が表彰された。職場部門では、大阪府知事賞(最優秀賞)に(株)カスターリレーションテレマーケティング、地域部門では学校法人河崎学園大阪河崎リハビリテーション大学などが選ばれた。府市場

青果組合の計量器検査を実施

市場協会計量部会(部会長板東啓三(株)大水支社長)では、青果卸売協同組合の48事業所の計量器208台に対し、3月4日から7日にかけて協会所属の信岡計量士が検査を行い、取引の信頼確保に努めた。なお、不合格は使用実態のないものなど5台であった。昨年10月から実施していた今年度の検査はすべて終了し、132事業者の計量器581台を検査し、不合格は14台であった。



管理センター(株)では、この活動に協賛し、各部門の最優秀賞・優秀賞・特別賞に副賞として新鮮な果物詰合せを提供した。表彰式では大阪府広報担当副知事のもぐざやんに協力してせりちゃんも活躍。宮前統括から副賞を受賞者に贈呈し、府市場のPRに努めた。



卸売業者取扱高 (平成31年2月)		大阪府中央卸売市場			
卸売業種名	種類	数量(トン)	前年比%	金額(千円)	前年比%
青果	野菜	9,456	108.6	1,766,593	74.2
	果実	4,578	109.2	1,833,674	104.0
	小計	14,035	108.8	3,600,267	86.9
水産物	生鮮水産物	1,454	89.3	1,407,050	95.8
	冷凍水産物	219	87.8	245,527	93.5
	加工水産物	833	95.5	773,560	96.6
	冷凍食品	307	91.8	155,174	93.0
	小計	2,813	91.2	2,581,310	95.6
卸売業者計		16,848	105.4	6,181,577	90.3

開場日数 2月 平成31年・30年ともに20日

府市場まつりで盛りだくさんのイベント開催

◆松坂屋・高橋店

佐賀青果フェア、長崎さかなフェアが2月の20日から26日の間開催され、佐賀県新品種「いちごさん」、「佐賀県産「アスパラ」「デコポン」「きゅうり」や「長崎まぐろ」「長崎黄金ぶり」の試食宣伝販売が行われたほか、佐賀県、長崎県の日替わり奉仕品が盛りだくさんに提供された。20日、23日には追手門学院大学の学生による長崎まぐろ試食宣伝販売のPR、23日には長崎まぐろの解体実演を解説トーク、せりち



央卸売市場 府市場管理センター(株) **◆イオンスタイル茨木** 3月8日(金)から10日(日)に、大阪府の主催で、「いいもんうまいもん!大阪産(もん)大集合!」イベントが開催された。10日には、追手門学院大学の学生の皆さんが、大阪産の野菜を使った食育クイズと模擬セリイベントを開催し、子供たちに野菜を楽しく学んでもらい、人気を集めていた。協力：追手門学院大学、府市場管理センター(株)

第3回青果分科会を開催

市場施設等整備構想策定検討委員会(幹事長・宮前管理センター統括)の青果分科会(幹事・酒井大果支社長)が3月18日に青果組合会議室で、分科会メンバーのほか、船木場長や宮前統括が出席され協議が行われた。



まず、2月府議会で的一般質問や委員会において建替えを含む整備構想について議会で初めてとなる質疑が行われ、府において一定前向きな答弁がなされたことが宮前統括より報告された。

衛 検 だより

HACCPの導入ってどうやるの?(その6)

食品衛生検査所

前回まで5回にわたりHACCPの導入についてお話ししましたが、今回はHACCPの導入はいつまでによいのかについて考えていきたいと思います。義務化される日は法律が改正された日から2年以内となります。つまり遅くとも、平成32年6月30日までは義務化されますが、その日が来るまで待つても果たしてよいのでしょうか。答えはノーです。そもそも、義務化される日は法的な期限であって、出荷先は待つてくれないかもしれ

止めさせてもらおうと言われれば、その日が期限になります。もちろん出荷先のさらに出荷先も同じように自らの出荷先にHACCPの証拠化を求められます。このように出荷先をいくつも経由して最終的に小売店に商品が並ぶのですが、たどり着く先の小売店が大手スーパーマーケットである場合、早くからHACCPの証拠化を求めてくるかもしれません。なぜなら、義務化された後はHACCPを導入していることが当たり前なので、他よりも早く始めることで、消費者へ安全性のアピールができ、売り上げにつながる

がと考えるからです。つまり結論として、「いずれHACCPを導入するならば、早ければ早いほどよい」ということが言えます。とにかく何から始めてよいか、わからない場合、HACCPの業種別手引書を読んでみましょう。これは厚生労働省のホームページに様々な業種の物が掲載されています。インターネットで「HACCP業種別手引書」というキーワードで検索すれば容易に手に入れます。自分の業態に合ったものを参考にし、まずは「衛生管理計画」というものを作成することを目標にしましょう。HACCPについて、わからないことがありましたら食品衛生検査所にご相談ください。

第1回水産分科会を開催

市場施設等整備構想策定検討委員会の水産分科会(幹事・小笠原うおいち支社長)が3月20日に、分科会メンバーのほか船木場長や宮前統括も出席され、管理棟4階会議室で開催された。



小笠原幹事の議事進行のもと、まず、宮前統括から「喫緊の課題として低温化対策とそのコストパフォーマンスを6月頃までに検討いただき、合意形成が整えば設計業務に着手する一方、青果を入れた全体の将来ビジョンは来年の3月頃と考えている。」との趣旨説明があった。

HACCP(ハサップ)研修会

食品衛生検査所では、3月15日、水産物卸協同組合の事業者を対象にHACCP研修会を開催した。昨年6月に食品衛生法が改正され、今までの衛生管理に加え、HACCPに沿った衛生管理が加わった。改正後2年以内に施行されることから、それ以前の時期に出荷先からHACCPで衛生管理を行っている証を求められ

た。可能性があるため、より早くHACCPを導入して流通市場

メンパーからは、夏場は氷をうっているものを除き、ハサップの温度管理もあり商品を店舗に展示できない、このまま温度管理をしない場合、量販店からはコールドチェーンに欠けるなら市場を使うなという話が出てくる、鮮魚の流通を市場がになうためには温度管理が必要不可欠だ、温度設定を何度にするかによつてその効果と費用について見える資料が必要だなどの切実な意見が多く出された。今回出された意見を踏まえて、各社団体で具体的な検討を行い、次回会議に持ち寄ることとされた。



経営展望進捗状況は良好な取り組みと評価

大阪府中央卸売市場運営取引業務協議会

大阪府中央卸売市場(船木昭夫場長)は、3月14日午前10時から、同協議会(会長:小野雅之神戸大大学院教授。学識経験者2名、市場関係者9名、生産者代表2名、小売業者代表3名、消費者代表3名、労組代表2名、地元自治体代表1名の22名で構成。市場の業務運営について調査審議等を行うため設置を、大阪市内のホテルで開催した。

先ず報告案

件として2件、
①府中央卸売市場業務規程について、消費税の改正に伴い消費税等を規定している条文の一部及び使用料についての改正案が府議会で審議中であること
②平成30年度の指定管理者評価委員会において、指定管理者が「市場の活性化と経営の効率化に大きく寄与している」と、また、度重なる災害に際しても、迅速かつ的確な対応により市場機能を停止させることなく開場できたことなどから、引き続き高い評価を得ていること(優良評価)昨年より1項目多い6、良好評価が5)が報告された。



取り組むもの)として認められ、全体として良好な取り組みが行われているとされた。B評価(実施をされているが十分な成果を挙げたもの)は4個あるが、今後につながるものは成果を挙げているものとして評価していいのではないかと委員の指摘があり、事務局で評価の仕方について検討されることになった。

進捗状況においてS評価項目は、「1、広域的な集荷・転送・分荷機能の強化」では、「指定管理者が検討を進める青果2階プラットホームの大屋根拡張整備がこの3月末竣工予定」であることや「駐車場区画の見直し項目で指定管理者による青果棟事務所回り駐車区画の幅員拡張工事が30年8月に完了した」と、「2、ゴールドチェーンの推進、加工機能等の充実」では、冷蔵設備に必要な「電気容量の増強、機能強化」の取り組みが進んでいること、「3、指定管理者の効率的な運営、外部活力の導入」では、「指定管理者評価委員会の非常に高い評価」や「効率的な運営によるコスト削減に努めていること」、災害復旧に大きく貢献していることなどが評価された。「4、産地や量販店、大学等との共同事業の展開」では、市場まわりの実施や産地との連携、食育関係その他の積極的な取り組みが評価された。B評価である「近郊売場の充実」「買出し人の増加に向けた取組みの実施」については、他の市場にない独自の取り組みであり高く評価していいのではとの意見があり、事務局に評価の方法の検討が

指示された。市場関係の委員から、市場は開場から40年を経て老朽化、耐用年数が来ている、さらに北部地震により傷んでいることや、現在市場機能としてより重要になっている分荷機能に対する対応などから早期の建て替えをお願いしたいと3名の委員から要望があった他、早急な対応として夏場の商品保存のために早期に低温化できるように要望があった。また、指定管理者が創意工夫をして捻出した事業費は次の年度に市場事業費として使わせていただくことも検討していただきたいとの要望があった。

次に、改正卸売市場法についてへの対応について、取引参加者等(卸売・仲卸・売買参加者・管理センター)からの意見について紹介され、業務規程改正スケジュールとして、青果・水産取引委員会を適宜開催して改正案を取りまとめ、これを審議するため9月頃に協議会を開催する日程案が示され、了承された。

管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から次の項目について報告があった。(数字は税抜)

- 活性化事業 □ H30年度執行見込(概ね86百万円) (提案額7千万円) □ ハード整備 ◆ 水産仲卸売場の低温管理に向けての取り組み ↓ 基本計画策定(H30年12月) ↓ 費用対効果も含め水産分科会で協議(3/20) ↓ 財源の検討 ↓ 実施設計 ◆ 2階プラットホーム大屋根拡張工事



梁が完成し、あとはテント張り工事のみ。大屋根内には10t車も入り、効率よい事業展開が可能となる。

改正卸売市場法に関する取引参加者からの意見概要(同協議会資料)

- 制度改正に伴う混乱を最小限に留めるよう配慮 ○ 市場の競争力を高める方向へ導くべき ○ 場内事業者間の相互理解を十二分に高めるべき
- ◆ 卸売業者による第三者販売、仲卸業者による直接集荷
- 各場内事業者の強み、長所、得意分野等を最大限発揮できるようにルール、仕組み、役割分担を整えるべき ○ 場内事業者の共存共栄、市場全体の成長を目指すべき
- 商物一致原則は現代にそぐわず、廃止しても差支えない
- ◆ 市場の開設区域
- 開設区域の制度的廃止について異論なし ○ 取引規制への影響等を個別に見極めるべき ○ 市場使用料の負担増に係る影響の緩和に配慮すべき
- ◆ 卸売業者の業務許可
- 卸売業者の許可制を維持継続するため、開設者による許可制とすべき
- ◆ セリ人制度
- せり人に係る制度は維持継続すべき

- ▽ 工事中(3/31) ◆ LED照明器具への転換 ▽ 水産青果買出人駐車場照明
- 禁煙対策 ▽ 通告書交付(違反者)137件(人) ▽ 警告書交付(再違反者)13件(人) ↓ 更に累犯があれば入場禁止の行政処分
- 市場施設等整備構想策定検討委員会 □ 青果分科会 ▽ 第3回分科会開催 3/18 □ 水産分科会 ▽ 第1回分科会開催 3/20
- 水産エリアにおける不法占有
- ▽ 刑事・民事の両面で厳正に対処 警察との相談 3/15、法務相談 3/26 ▽ 関係者の全面協力を
- その他 □ 消防防災訓練(管理棟) ▽ 3/20、10:00~11:00 □ 定期除草(本年度最後) ▽ 水産、青果管理棟周辺緑地帯 3/26~3/30

- 維持補修事業 □ H30年度執行見込(概ね83百万円) (提案額6千万円) □ 事業実績(実施済) ◆ 約55百万円 □ 工事中・工事予定 ◆ 約25百万円 ▽ 青果仲卸 B・C棟スプリンクラー修繕工事、自動火災報知設備修繕工事など
- 大阪府依頼事業 □ 青果低圧幹線設備改修(H30年8/23~3/31)
- ごみ関連 □ 不法投棄件数(2月、3件) ▽ 対策開始前比へ98%減少 □ 青果くず排出状況()は対前年比 ◆ 2月単月実績 □ 排出量約78トン(約46トン、+24.7%) ○ 処理費用(税込)約151万円(約90万円、+24.7%) ◆ 2月までの累計 □ 排出量約852トン(約78トン、+11.0%) ○ 処理費用約170万円(約151万円、+11.0%)
- カラス対策 ▽ カラス捕獲数15回71羽(次回3/27予定) *別途捕獲器による捕獲(31回78羽)